

「目指す未来像」の議論について

「目指す未来像」の議論とは

★地域に関わる様々な主体で「目指す未来像」を共有

「地域の未来予測」によって明らかになった変化・課題の見通しを踏まえつつ、客観的な推計が困難な分野や指標についての見通しや目標も併せて、どのような未来を実現したいのかについて、住民等とともに議論すること。

ポイント

「目指す未来像」の議論は必ずしも「地域の未来予測」によって明らかになった変化・課題の見通しのみを対象として行われるものではなく、より幅広く、自由に行われるべきもの。

↳ 長期にわたる客観的な推計が困難な行政分野(例:産業、観光、環境等)も含めて幅広く議論
AI・IoT等の新技術の活用等も視野に入れて、地域の強みを活かしながらどのような未来像を描けるか自由に議論

「目指す未来像」の議論のあり方

- ✓ 「目指す未来像」の議論については、地域に関わる様々な主体(首長、議会、住民に加えて、コミュニティ組織、NPO、企業等)を巻き込んで行うことが重要。
- ✓ 特に未来を担う若い世代を巻き込んで議論を行うことが重要。例えば、中学生や高校生を対象に行う、自治体の初任者研修の場を活用するといったことも考えられるのではないかな。
- ✓ ワークショップの開催や地域に関わる様々な主体が参画している協議会等のプラットフォームの活用、議会への説明等により行うことも考えられる。例えば、ワークショップにゲーム性を持たせるなど参加者の関心・意欲を高める工夫も有効。

「目指す未来像」の議論の結果を
複数市町村の広域連携の取組や各市町村における様々な政策や計画に反映